

4-1 実践事例及び考察

実践事例1 第4学年 「筆者の工夫を読み取り、ガイドブックにまとめよう」

教材 「アップとルーズで伝える」（光村図書 4年下）

副教材 「くらしをまもる車」（学校図書 1年下）

○実践校における課題の焦点化

「中心となる語や段落相互の関係を捉えること」



○課題の解決に向けて必要な力

「説明的な文章の解釈に関して、段落相互の関係を捉えながら読む力」



○授業改善のポイントを生かした手立て

ア 児童に見通しをもたせ、主体的な学びをつくること

〔手立て①〕 低学年の説明的な文章を副教材として用いて、学び方を確認させる。

〔手立て②〕 学習を通して得た新たな知識を「説明文お宝ヒント集」にまとめさせ、活用を図る。

イ 単元を通して言語活動を位置付けて授業を行っていくこと

〔手立て③〕 単元を通じた言語活動として「ガイドブック作り」を位置付け、主体的な活動につなげる。

ウ 自分の考えを広げたり深めたりさせる話し合いを授業に取り入れること

〔手立て④〕 児童が考えを広めたり深めたりする場として、グループ学びを設定する。

エ 学びを自覚させる振り返りを取り入れること

〔手立て⑤〕 振り返りで、キーワードを使って「学習して分かったこと」をまとめさせ、「自分ができるようになったこと」を書かせることで、自分の学びを自覚させる。

指導計画

- 1 単元名 筆者の工夫を読み取り、ガイドブックにまとめよう
 教材「アップとルーズで伝える」（光村図書 4年下）
 副教材「くらしをまもる車」（学校図書 1年下）

2 単元について

(1) 児童観

本学級の児童は、前単元「大きな力を出す」「動いて、考えて、また動く」（光村図書4年上）で、段落相互の関係を考えながら読んだり、事実・説明・筆者の考えの関係を捉えたりする学習を行ってきた。段落ごとに何が書かれているか、筆者が伝えたかったことは何かについて、個人、グループ、全体で考える活動を行ったが、内容を十分に理解できている児童は少なかった。

(2) 教材観

本単元は、学習指導要領の第3学年及び第4学年における「C読むこと」の指導事項「イ 目的に応じて、中心となる語や文を捉えて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと」をねらいとして設定している。

本教材では、映像や新聞の写真で用いられるアップとルーズの2つの方法について、それぞれの特徴を述べ、送り手が伝えたいこと、受け手が知りたいことを考えながらアップとルーズを使い分けることの大切さを述べている。本教材は、アップとルーズを対比的に述べており、段落相互の関係をつかませやすい教材である。また、文章だけでなく、写真を用いて対比関係を分かりやすくしており、児童はアップとルーズの対比関係を写真でも容易に理解することができると思う。

さらに、単元導入時に扱う教材文「くらしをまもる車」では、働く車が人々の生活を守っていることが述べられている。この教材文は、文章が短く、説明的な文章の基本的な構成が分かりやすく、まとまりごとに書かれている内容を理解し、段落相互の関係をつかみやすい。

そのため、単元導入時にこの教材文で説明的な文章の基本的事項を確認させ、「アップとルーズで伝える」で生かすことができると思う。

(3) 指導観

- ・第一次では、1年生の説明的な文章「くらしをまもる車」を用いて、説明的な文章を読むために必要な内容(問い、始め・中・終わりの構成など)を確認させることで、「説明的な文章を読むことは、難しいことではない」と安心感をもたせることをねらう。また、「説明文お宝ヒント集」を自分の言葉で書き加えながら完成させていくことを伝えることで、最後まで読みたいという意欲をもたせることをねらう。
- ・第二次では、「筆者の工夫」をキーワードに、文章構成や、段落相互の関係を読み、ガイドブックにまとめていくことを伝えることで、単元の学習課題を明確につかませることをねらう。課題意識をもたせることで、学習への意欲へとつなげていく。説明的な文章を読むヒントを見付けたら、自分の言葉で「説明文お宝ヒント集」に加筆させていくことで、自分に力が付いていることを可視化させ、学習意欲を持続させることをねらう。
- ・第三次では、見付けた「筆者の工夫」を文章にまとめる活動を行う。まとめる際には、グループ学びを設定し、お互いの「説明文お宝ヒント集」に書かれた表現を比べ合い、よりよい表現に修正した上で、筆者の工夫を大事なことから3つ、順番を付けてまとめさせ、グループで発表会をさせる。

3 単元の目標

- それぞれの段落が全体の中でどのような役割を果たしているかを考えながら読むことができる。
- 写真と対応した部分に注意して読み、アップとルーズそれぞれの特徴を整理することができる。

4 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
・学習課題を解決したいという意欲をもち、文章を読んで自分の考えをまとめようとしている。	・目的に応じて、中心となる語を捉え、段落相互の関係や対比の関係を考え、文章を読んでいる。(イ)	・指示語や接続語が、文や段落の関係を示す手掛かりになることを理解している。(イ(ク)) ・新出漢字、重要語句の読み方や意味を理解する。(ウ(イ))

5 指導と評価の計画(全9時間) (授業改善のポイントを生かした手立てについては、手立て番号と下線で示す 『①_ _ _』)

次	時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準【 】と 評価方法()
一	1	<p>○学習の見通しをもつ。</p> <p>①「<u>くらしをまもる車</u>の文章を並べ替えてこれまでの説明的な文章の学習を想起する。</p> <p>④ グループ学び</p> <p>○単元を通した言語活動の見通しをもち、学習課題をつかむ。</p> <p>クラス学び</p> <p>《学習課題》③ <u>筆者の工夫を、段落と段落を関係付けて、ガイドブックにまとめよう。</u></p>	<p>・ばらばらになった文章を並べ替えることで、説明的な文章の読みに大切な観点を想起させる。</p> <p>・グループ学びで、想起した観点についてより良い表現に検討させ、【説明文お宝ヒント集】にまとめさせる。</p> <p>【説明文お宝ヒント集に書かれた児童の記述例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・形式段落に番号をつける。 ・キーワードに線を引く(題名に関係する言葉・くり返し使われている言葉)。 ・問いの文を見つける。 ・「はじめ」は、問いの文のある段落まで。 ・「このように～」で始まる段落から「おわり」。 <p>・単元を通して、筆者の工夫を見付け、ガイドブックにまとめることで、今後の説明的な文章の学習でも活用していくことを伝え、意欲や見通しをもてるようにする。</p>	<p>【関】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の見通しをもって、説明的な文章を読もうとしている。(発表・ワークシート) <p>【言(ウ(イ))】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新出漢字、重要語句の読み方や意味を理解する。
二	2	<p>○学習計画を立てる。</p> <p>①「<u>くらしをまもる車</u>」の段落相互の関係を<u>つかみ、ガイドブックにまとめる。</u></p> <p>④ グループ学び ひとり学び</p>	<p>・学習課題を明確にさせることで、学習のゴールをイメージさせ、学習計画を立てさせる。</p> <p>・グループ学びで、「くらしをまもる車」の段落相互の関係を<u>つかみ</u>、文章の構成図を書かせる。</p> <p>・「くらしをまもる車」を基に、「アップとルーズで伝える」の文章の構成を考える。</p>	<p>【読(イ)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「くらしをまもる車」に書かれていることを読み、段落相互の関係を<u>つかんで</u>いる。 <p>【言(イ(ク))】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指示語や接続語が文や段落の関係を示す手掛かりになることを理解している。(ワークシート・発表)
	3	○【説明文お宝ヒント	・筆者の工夫を見付けるために、②【説明文お	【関】

		<p>集】のヒントと「アップとルーズで伝える」とを比べて読む。</p> <p><u>ひとり学び</u></p> <p>④ <u>グループ学び</u></p> <p><u>クラス学び</u></p>	<p><u>宝ヒント集】</u>のヒントと「アップとルーズで伝える」とを比べながら読ませた後、グループ学びで検討させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時にひとり学びで考えた「アップとルーズで伝える」の文章の構成をグループ学びで検討させる。 ・グループ学びの結果を、全体で交流させる。 ・本時で見付けたヒントを②【<u>説明文お宝ヒント集】</u>に加筆させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「アップとルーズで伝える」を【<u>説明文お宝ヒント集】</u>を使って読んでいる。（発表・ワークシート）
4	<p>○「アップとルーズで伝える」の全体の文章構成をつかむ。</p> <p>④ <u>グループ学び</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・形式段落の書き出しにサイドラインを引かせることで、段落と段落との関係に気付かせる。 ・「アップとルーズで伝える」の内容の大体を読み、「始め・中・終わり」の分け方を、段落と段落との関係に気を付けて、グループ学びで検討させる。 ・本時で見付けたヒントを②【<u>説明文お宝ヒント集】</u>に加筆させる。 	<p>【読（イ）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体の構成を捉えている。（発表・ワークシート） 	
5	<p>○「アップとルーズで伝える」の文章の構成から、対比の関係を捉える。</p> <p><u>ひとり学び</u></p> <p>④ <u>グループ学び</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アップとルーズについて書かれている言葉や文にそれぞれ色を分けて線を引かせることで、対比の関係に気付かせる。 ・写真と文章を関連付けることで、対比の関係に気付かせる。 ・本時で見付けたヒントを②【<u>説明文お宝ヒント集】</u>に加筆させる。 	<p>【読（イ）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対比の関係を捉えている。（発表・ワークシート） 	
6	<p>○⑦、⑧段落の役割について考える。</p> <p>④ <u>グループ学び</u></p> <p><u>クラス学び</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・⑦、⑧段落が必要か必要でないか、その根拠について、グループ学びで検討した後、クラス学びで話し合わせる。 ・⑥段落と⑧段落を比較することで、文章全体をまとめているのは、⑧段落であることを確認させる。 ・本時で見付けたヒントを②【<u>説明文お宝ヒント集】</u>に加筆させる。 	<p>【読（イ）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・段落相互の関係を捉えている。（発表・ワークシート） 	
三	<p>7 ○「アップとルーズで伝える」で筆者が最も伝えたかったことを考える。</p> <p>④ <u>グループ学び</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の主張が書かれているとっておきの一文を選ばせることで、筆者の工夫に気付かせ、ガイドブックにまとめさせる。 ・ガイドブックにまとめた言葉をクラス学びで交流させる。 ・本時で見付けたヒントを②【<u>説明文お宝ヒント集】</u>に加筆させる。 ・筆者の工夫をガイドブックにまとめさせることで、学習課題を振り返らせる。 	<p>【読（イ）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者の主張を捉えている。（発表・ワークシート） 	
9	<p>○<u>筆者の工夫をガイド</u></p> <p>③</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・書いた文をグループで互いに読み合い、筆 	<p>【関】</p>	

	<p><u>ドブックにまとめる。</u></p> <p>○ガイドブックに書いた筆者の工夫に対する自分の考えを、発表し合う。</p> <p>④ <u>グループ学び</u></p>	<p>者の工夫が分かりやすくまとめられているかを確認する。</p> <p>⑤ <u>単元全体を振り返り、説明的な文章を読む時に必要なことをまとめたり、自分の力で文章を読むことができるようになったかを自己評価したりする。</u></p>	<p>・学習を振り返り自分が身に付けた力に気付いている。 （発表・ワークシート）</p>
--	--	---	--

第4学年 実践事例（1時目）

1 本時の目標

学習の見通しをもって、説明的な文章を読もうとすることができる。【関・意・態】

2 本時の展開(全9時間 本時1/9)

学習活動	教師の働き掛け(○)
1 ばらばらになったカードを並び替える活動を通して、説明的な文章の特徴を見付ける。 2 ペアで、並び替えた順番の根拠を話し合う。	○「くらしをまもる車」の教材文を形式段落ごとに8枚のカードに分け、ばらばらに並べて提示した。 ○ペアで、8枚のカードを正しく並び替える活動に取り組みさせた。 ○ペアで、カードを並び替えた順番とその根拠について考えさせた。 ○どのようなことに気を付けて並び替えたのかを考えさせることで、それまでの説明的な文章の学習を振り返り、説明的な文章の特徴を捉え、説明的な文章を読む時に大切なことを見付けさせた。
《本時のめあて》 説明文を読む時に大切なことを、「くらしをまもる車」を読んで、【説明文お宝ヒント集】にまとめよう。	
3 説明的な文章を読む時に大切なことを、自分の言葉で書かせ、グループでどのまとめ方がよいか検討し合う。 グループ学び	○グループで順番やその根拠について話し合う活動を通して、説明的な文章の読みに必要な観点到に気付かせた。 ○クラスで児童の発言を基に分類整理して、【説明文お宝ヒント集】にまとめさせた。その際、観点を出した児童名も書き込むことで、自分たちで作成するという意識させた。
【説明文お宝ヒント集】 ・形式段落に番号を付ける。 ・キーワードを見付ける。 ・問いの文がある。 ・「このように～」からが終わりになる。	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; width: 150px; text-align: center;"> 形式段落別に、ばらばらになった説明的な文章 </div> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; width: 150px; text-align: center;"> 児童が正しく並び替えた説明的な文章 </div> </div>
4 単元の学習課題を話し合う。	○本単元では、【説明文お宝ヒント集】を基に、既習の説明的な文章の読み取り方を使って読むことと新たな読み取り方や筆者の工夫を見付けて、ガイドブックにまとめていくことを伝えた。【評価】
《学習課題》 筆者の工夫を、段落と段落を関係付けて、ガイドブックにまとめよう。	
クラス学び	○【説明文お宝ヒント集】の観点が「アップとルーズ」でも使えるのかどうかを確かめながら、説明的な文章の新たな読み取り方や筆者の表現の工夫をガイドブックにまとめ、今後の学習で活用していくことを伝えた。

	○教師が作成したガイドブックのモデルを提示することで、単元のゴールをイメージさせ、児童の意欲を喚起し、学習の見通しがもてるようにした。
--	---

3 本時の評価

評価規準	学習の見通しをもって、説明的な文章を読もうとしている。【関・意・態】		
判断の規準	十分満足できる状況(A)	おおむね満足できる状況(B)	努力を要する状況の児童への支援(C)
	説明的な文章の構成を捉えながら、進んで教材文の並べ替えをしようとしている。	説明的な文章の構成を捉えながら、教材文の並べ替えをしようとしている。	→友達のを参考に並べ替えをさせる。
評価の方法	発言・ワークシート		

第4学年 実践事例（2時目）

1 本時の目標

説明的な文章を読む時に大切なことを、「くらしをまもる車」を読んで見付け、自分の言葉でまとめることができる。【読】

2 本時の展開(全9時間 本時2/9)

学習活動	教師の働き掛け(○)
1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを知る。	○前時に作成した【説明文お宝ヒント集】を提示し、これを基に「くらしをまもる車」の構成や筆者の工夫を読み取ることを伝えた。
<p>《本時のめあて》 「くらしをまもる車」を読んで、説明文を読むときに大切なことを見付け、自分の言葉でまとめよう。</p>	
2 学習計画を立てる。	○学習計画を話し合い、今後の見通しをもたせた。
3 「くらしをまもる車」を読み、ガイドブックにまとめる。	<p>○【説明文お宝ヒント集】を基に、文章構成図を作成させた。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・始め・中・終わりに分ける。 ・段落ごとに何が書かれているか小見出しを付ける。 ・筆者の主張（一番伝えたかったところ）を見付ける。 ・「中」に何がどのように書かれているかを考える。 </div> <p>→筆者は、自分の主張を伝えるために、「中」で何をどのように述べているのかをまとめさせた。</p> <p>○段落相互の関係をつかませる活動では、グループ学びを行い、互いの考えを伝え合い、読み取りを深めさせた。</p> <p>○説明的な文章の読み取りに必要なヒントが新たに出てきたら【説明文お宝ヒント集】に付け加えさせた。【評価】</p>
<p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">グループ学び</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-top: 10px;">ひとり学び</p>	<p>○本時の学習を振り返らせ、分かったことを記述させた。</p>
4 学習を振り返る。	○本時の学習を振り返らせ、分かったことを記述させた。

3 本時の評価

評価規準	・「くらしをまもる車」に書かれていることを読み、段落相互の関係をつかんでいる。【読】 ・指示語や接続語が文や段落の関係を示す手掛かりになることを理解している。【言】		
判断の規準	十分満足できる状況(A)	おおむね満足できる状況(B)	努力を要する状況の児童への支援(C)
	「くらしをまもる車」の文章構成、小見出しや筆者の工夫を書いて段落相互の関係をつかんでいる。	「くらしをまもる車」の小見出しや筆者の工夫を書いて段落相互の関係をつかんでいる。	→板書を基に、文章構成図を作成させる。
評価の方法	発言・ワークシート		

4 学習計画表

		筆者の工夫を読み取り、ガイドブックにまとめよう。 名前（ ）	
学習計画			
一	○これまでに学習したことを思い出す。 ○これからの学習の見通しをもつ。 ○学習計画を立てる。	／	
二	○「くらしをまもる車」を読み取り、ガイドブックにまとめる。	／	
三	○「アップとルーズで伝える」を自分で読み取る。	／	
四	○「アップとルーズで伝える」をみんなできわしく読み取る。	／	
五	○「アップとルーズで伝える」で筆者が一番伝えたかったことを考える。 ○「アップとルーズで伝える」での筆者の工夫をガイドブックにまとめる。	／	
六	○学習をふりかえる。 （できるようになったこと・ついた力）	／	

第4学年 実践事例（3時目）

1 本時の目標

筆者の工夫を見付けるために、【説明文お宝ヒント集】と「アップとルーズで伝える」とを比べながら読もうとすることができる。【関・意・態】

2 本時の展開(全9時間 本時3/9)

学習活動	教師の働き掛け(○)
1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを知る。	○前時に作成した「くらしをまもる車」の文章構成図を提示し、この構成図や【説明文お宝ヒント集】を基に、「アップとルーズで伝える」を読むことを伝えた。
《本時のめあて》 筆者の工夫を、【説明文お宝ヒント集】と「アップとルーズで伝える」とを比べながら見付け、ガイドブックにまとめよう。	
2 「アップとルーズで伝える」を読む。 ひとり学び グループ学び クラス学び	○【説明文お宝ヒント集】や「くらしをまもる車」の文章構成図を参考に、自力で文章構成図にまとめさせた。 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 文章構成図にまとめる際に主にすること ・形式段落に分ける。 ・問いの文に線を引く。 ・キーワードに線を引く。 ・はじめ・なか・おわりに分ける。 </div> ○文章構成図を作成しながら、【説明文お宝ヒント集】のヒントが「アップとルーズで伝える」にも当てはまるかどうかを検討させた。当てはまるものは○、当てはまらないものは×、どちらかわからないものは△を付けさせた。【評価】 ○ヒントが当てはまるかどうかを、グループで検討させた。 ○グループ学びの結果を、全体で検討させた。
3 学習を振り返る。	○本時の学習を振り返らせ、分かったことを記述させた。

3 本時の評価

評価規準	筆者の工夫を見付けるために、【説明文お宝ヒント集】と「アップとルーズで伝える」とを比べながら読もうとしている。【関・意・態】		
判断の規準	十分満足できる状況(A)	おおむね満足できる状況(B)	努力を要する状況の児童への支援(C)
	「アップとルーズで伝える」の文章構成を理解して、【説明文お宝ヒント集】のヒントが当てはまるかを検討し、○△×を付けている。	【説明文お宝ヒント集】のヒントが当てはまるかを検討し、○△×を付けている。	→友達の考えを参考に書かせる。
評価の方法	発言・ワークシート		

第4学年 実践事例（4時目）

1 本時の目標

筆者の工夫を見付けるために、「くらしをまもる車」と「アップとルーズで伝える」とを比べて読み、教材文「アップとルーズで伝える」の構成の工夫を捉えることができる。【読】

2 本時の展開(全9時間 本時4/9)

学習活動	教師の働き掛け(○)
1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを知る。	○前時に作成した文章構成図を基に、本時では全体で検討することを伝えた。
《本時のめあて》	筆者の工夫を、「くらしをまもる車」と「アップとルーズで伝える」とを比べて読んで見付け、ガイドブックにまとめよう。
2 「アップとルーズで伝える」の全体の文章構成をつかむ。 グループ学び	○段落の始めの言葉にサイドラインを引かせ、前後の段落との関係を考える手掛かりとさせた。 ○「くらしをまもる車」でまとめたガイドブックを基に、構成図にまとめさせた。 ○グループで「始め・中・終わり」の分け方について考えさせた。 ○キーワードや問いの文にサイドラインを引かせた。 ○キーワードや内容から各段落に書かれていることを小見出しにまとめさせた。 ○【説明文お宝ヒント集】のヒントが当てはまるかどうか全体で文章構成図を作成しながら確定していく。本時で解決できないヒントについては、次時以降に解決していくことを伝えた。【評価】
3 学習を振り返る。	○本時の学習を振り返らせ、分かったことを記述させた。

3 本時の評価

評価規準	「アップとルーズで伝える」の構成を捉えている。【読】		
判断の規準	十分満足できる状況(A)	おおむね満足できる状況(B)	努力を要する状況の児童への支援(C)
	【説明文お宝ヒント集】や、キーワードや内容を基に、始め・中・終わりに分けたり、小見出しを書いたりしている。	【説明文お宝ヒント集】を使って、始め・中・終わりに分けたり、小見出しを書いたりしている。	→友達を考えや板書を参考に書かせる。
評価の方法	発言・ワークシート		

アップとルーズの写真

説明的な文章の全文を1枚に書いたもの

説明的な文章を俯瞰的に読む手立て

加筆していった【お宝ヒント集】

3 本時の評価

評価規準	段落と段落を関係付けて読み、対比の関係を捉えている。【読】		
判断の規準	十分満足できる状況(A)	おおむね満足できる状況(B)	努力を要する状況の児童への支援(C)
	「このように」の役割や対比関係を捉え、自分の言葉で説明している。	「このように」の役割や対比関係を捉えている。	→アップとルーズについて書かれている段落を見付けさせ、書かれていることが互いに反するものであることを図式化して示す。
評価の方法	発言・ワークシート		

4 児童の振り返り

今日の学習で、強をつけると分かりやすい説明になると分かりました。

今日は④のたんらくと、⑤のたんらくのちがいをたいびと言うことが、分かりました。

今日は、ちがいを、見るのが対比と初めて知って、なるほどと思いました。対比をもっと、さがしたいです。

第4学年 実践事例（6時目）

1 本時の目標

⑦、⑧段落と他の段落との関係を考え、⑦、⑧段落の役割を捉えることができる。【読】

2 本時の展開(全9時間 本時6/9)

学習活動	教師の働き掛け(○)
1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを知る。	○前時に学習した「対比」や「このように」の役割について確認させた。 ○「⑦、⑧段落は、この説明的な文章には必要ないのではないか」と問い掛けた。
《本時のめあて》 筆者の工夫を、⑦段落と⑧段落の役割を読んで見付け、ガイドブックにまとめよう。	
2 ⑦、⑧段落が必要かについて自分の考えをもつ。 グループ学び	○グループ学びで、⑦、⑧段落が必要かどうかと、その理由をワークシートに書かせた。 ○次のような観点で理由を書いている児童の考えを中心に発表させた。
3 ⑦、⑧段落が必要かどうか話し合う。 クラス学び	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・⑥段落までに書かれていることと、⑦段落に書かれていることの違いに着目している。 ・⑦段落、⑧段落に書かれている内容に着目している。 </div> ○⑦段落では、⑥段落までになかった新聞(写真)について述べられていることから、1つの事柄だけでなく、もう1つの事柄を述べることで筆者の伝えたいことがより分かることに気付かせる。 ○⑧段落の「テレビでも新聞でも～」に着目させる。「テレビ」と「新聞(写真)」について述べられていることから、⑧段落は文章全体のまとめの役割があることを確認させた。
4 筆者が⑦⑧段落を書いた理由をまとめる。	○説明的な文章では、1つの事柄だけでなく、複数の事柄で説明することにより筆者の主張を伝えようとしていることを【説明文お宝ヒント集】に自分の言葉でまとめさせた。【評価】
5 学習を振り返る。	○本時の学習を振り返らせ、分かったことを記述させる。

第4学年 実践事例（7・8時目）

1 本時の目標

単元で見付けた筆者の工夫を比べて、大切なことから3つ選んで書くことができる。【読】

2 本時の展開(全9時間 本時7・8/9)

学習活動	教師の働き掛け(○)
1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを知る。	○【説明文お宝ヒント集】に書き加えてきたことを振り返り、本時ではこれらの工夫を使って、筆者が伝えたかったことは何かを考えていくことを伝えた。
《本時のめあて》 単元で見付けた筆者の工夫を、比べて、大切なことから3つ選んでガイドブックにまとめよう。	
2 「アップとルーズで伝える」で筆者が一番伝えたかったことを考える。 グループ学び	○「アップ」で伝えたかったこと、「ルーズ」で伝えたかったことをそれぞれまとめさせた。 ○2つの伝えたかったことから、筆者が1番伝えたいことが述べられている段落や文を見付けさせた。 ○最後の段落に述べられている文章に込められた筆者の思いを考えさせた。
3 筆者の工夫をガイドブックにまとめる。 【予想される言葉】 ・アップとルーズ ・筆者(中谷さん) ・対比 ・写真	○これまでの学習で分かったことや、【説明文お宝ヒント集】に新たに加えたヒントを基に、筆者が自分の主張を伝えるためにどのような工夫をしていたのかを文章にまとめさせた。 ○ガイドブックに載せる枠に限りがあることを提示し、文字数を制限した。 ○まとめを書く際に用いるべき言葉を児童から出させるようにした。 <div style="text-align: right;">【評価】</div> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 【児童のまとめ】 ・筆者の中谷さんは、対比を使ってアップとルーズのちがいははっきりさせていた。 ・筆者の中谷さんは、対比をくり返して使い、アップとルーズのちがいははっきりさせていた。 ・筆者の中谷さんは、写真も使って説明することで、読む人にアップとルーズのそれぞれの良さを伝えたかった。 </div>
4 文章を互いに読み合う。 グループ学び	○書いた文章をグループで読み合い、筆者の工夫が分かりやすくまとめられているかを確認させた。
5 学習を振り返る。	○本時の学習を振り返らせ、分かったことを記述させた。

3 本時の評価

評価規準	単元で見つけた筆者の工夫を比べて、大切なことから3つ選んで書いている。【読】		
判断の規準	十分満足できる状況(A)	おおむね満足できる状況(B)	努力を要する状況の児童への支援(C)
	筆者の主張を正確に読み取り、60字以内で筆者の主張や工夫を書いている。	筆者の主張や工夫を60字以内で書いている。	→筆者の主張が書かれている段落を【お宝ヒント集】に新たに付け加えたヒントから工夫を見付けさせる。
評価の方法	発言・ワークシート		

4 ワークシート

筆者の工夫を読み取り、ガイドブックにまとめよう
アップとルールで伝える

④

名前（ ）

筆者の主張（筆者が一番言いたかったこと）

写真

新聞

テレビ

ルール

アップ

ワークシートは縦長の枠で構成され、左側に「筆者の主張（筆者が一番言いたかったこと）」と書かれた欄があり、その右側に「写真」「新聞」「テレビ」の3つのカテゴリーがあり、それぞれに縦長の枠が用意されている。さらに右側に「ルール」と「アップ」の2つのカテゴリーがあり、それぞれに縦長の枠が用意されている。最右端には「名前（ ）」と書かれた欄がある。上部には「筆者の工夫を読み取り、ガイドブックにまとめよう」と「アップとルールで伝える」という指示文と、④のマークがある。

7時目

筆者の工夫を読み取り、ガイドブックにまとめよう
アップとルールで伝える

④

名前（ ）

ワークシートは縦長の枠で構成され、左側に縦横の罫線が入った大きな枠があり、その右側に「名前（ ）」と書かれた欄がある。上部には「筆者の工夫を読み取り、ガイドブックにまとめよう」と「アップとルールで伝える」という指示文と、④のマークがある。

8時目

